

北海道駒ヶ岳

1 概況（平成 14 年 6 月）

地震の増加や火山性微動はなく静穏に経過しました。噴煙活動も弱く地殻変動にも特別な変化は認められませんが、今年 2 月～3 月には地震がやや増加したこともあり、今後も火山活動の推移を注目する必要があります。

2 噴煙活動の状況

遠望カメラでは昭和 4 年火口の噴煙は観測されず、噴煙活動は低いレベルが続いています。

3 火口・地熱地帯の状況

6 月 18 日に調査観測を実施しました。昭和 4 年火口をはじめ所々で弱い噴気活動が続いていますが、今のところ活発化の兆候はありません。

【昭和 4 年火口】

火口内の 96 年主火口および火口内西側で弱い噴気活動が続いています。噴気音や臭いは認められませんでした。北側約 130m の定点から赤外放射温度計*で測定した火口の温度は 43 で、今年 5 月（32 ）と同程度でした。

【96 年南火口列】

火口列の所々で弱い噴気活動が続いています。火口列南端の最も活発な F13 噴気孔では、弱い噴気音を伴って火山ガスを噴出しています。噴気孔周辺には鮮明な硫黄昇華物が付着しています。

その他、大亀裂や瓢型火口などで弱い噴気活動が続いています。

* 赤外放射温度計

物体が放射する赤外線を検知して温度を測定する計器。熱源から離れた所から温度を測定できるが、値は測定条件や距離によって変わり、実際の温度とは必ずしも一致しない。

4 地震活動の状況

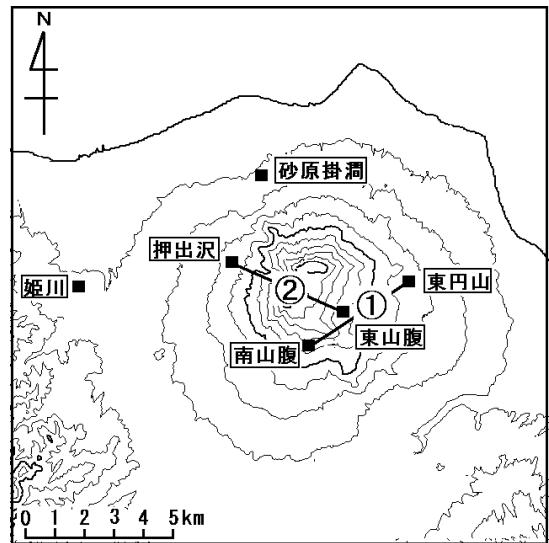
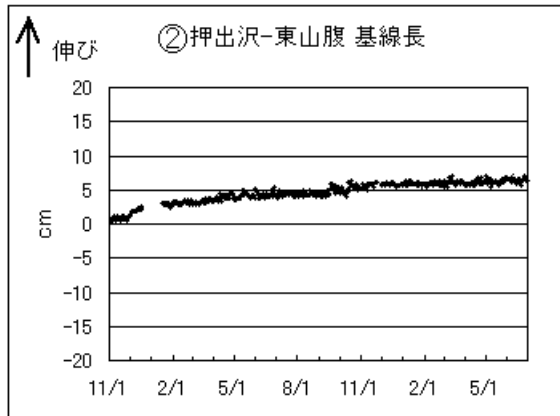
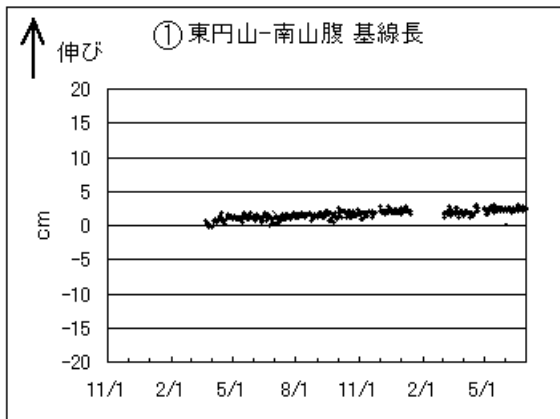
地震は 13 日に 1 回発生しただけでした。震源は山頂火口原の浅いところと推定されます。火山性微動はありませんでした。

月別地震・微動回数（A 点）

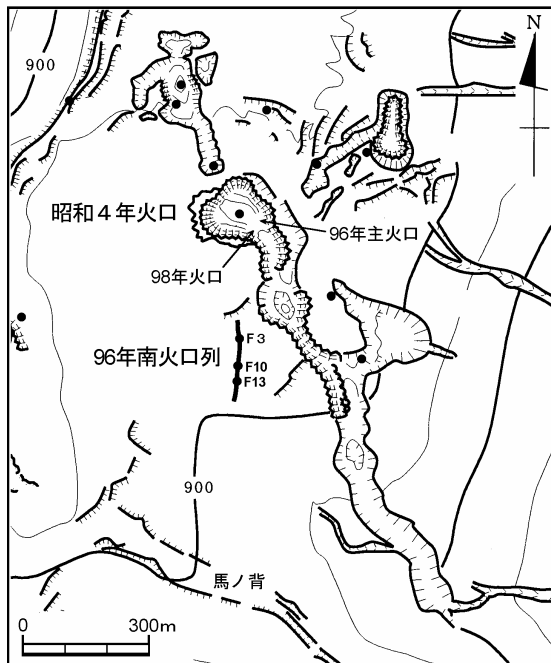
平成 13～14 年	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月
地震回数	0	1	1	2	1	0	1	10	7	1	1	1
微動回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

5 地殻変動の状況

G P S 観測では、火山活動に起因すると考えられる特別な変化はありませんでした。

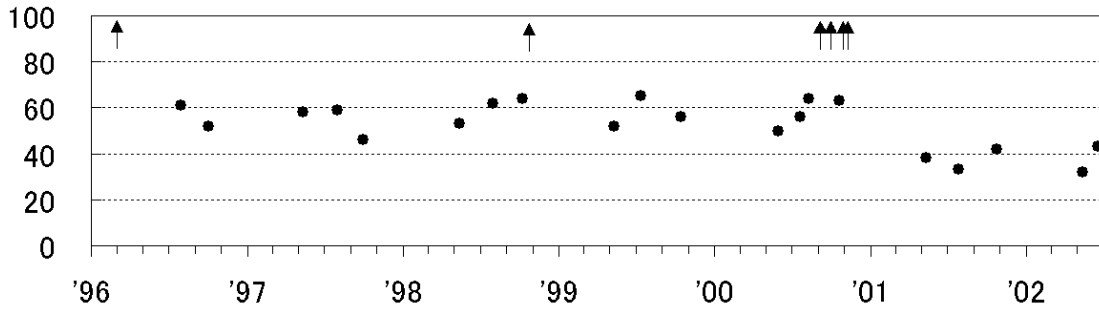


北海道駒ヶ岳基線長グラフ(2000年11月1日~2002年6月30日)

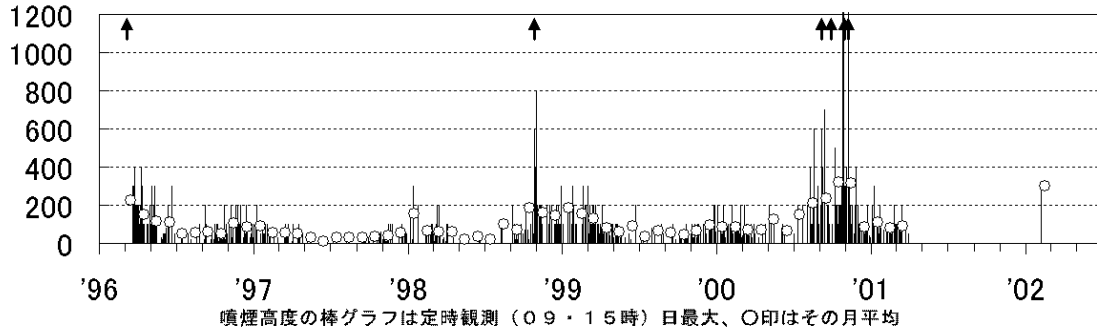


駒ヶ岳山頂火口原周辺図

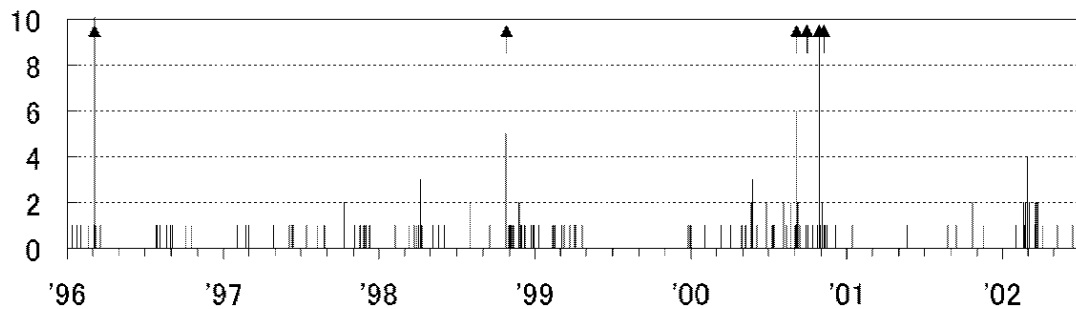
温度(°C) 北海道駒ヶ岳昭和4年火口温度(赤外放射温度計による)



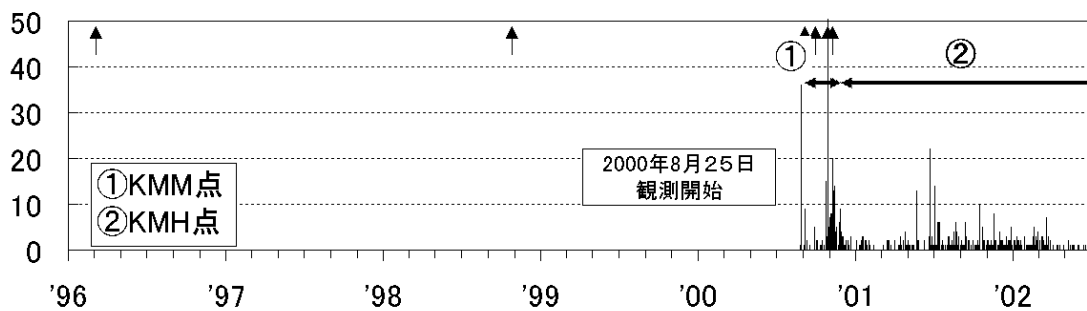
噴煙高度(m) 北海道駒ヶ岳昭和4年火口噴煙高度



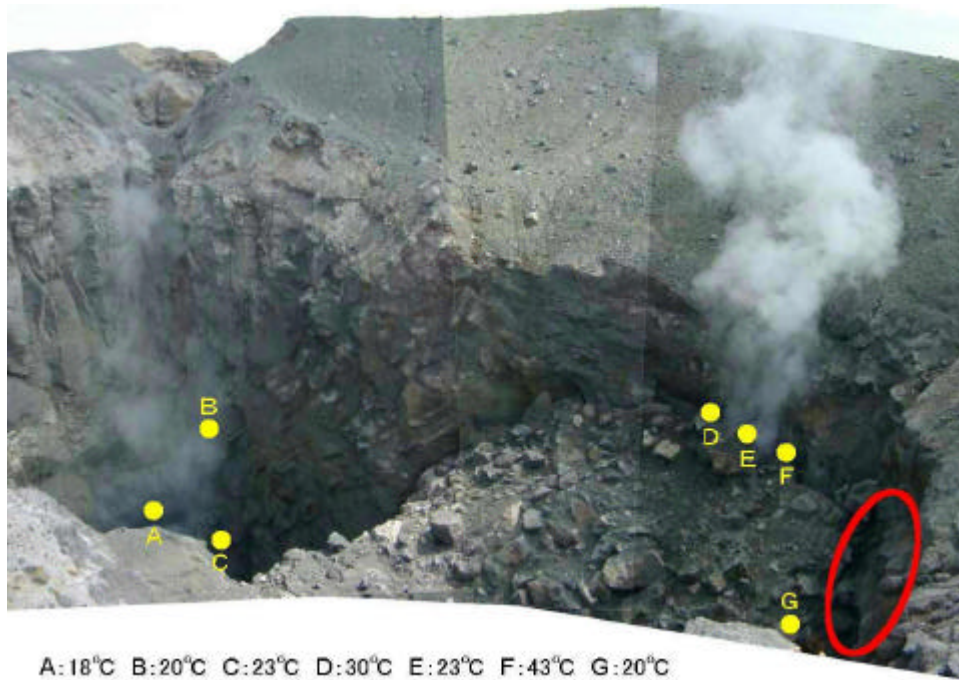
日別回数 北海道駒ヶ岳日別地震回数



日別回数 北海道駒ヶ岳山頂臨時点の地震回数



北海道駒ヶ岳火山活動経過図(1996年1月1日~2002年6月30日) 印は噴火



北側から見た昭和4年火口内の状況（6月18日）
丸印は定点から赤外放射温度計で測定した地点、数値は温度、楕円で囲んだ部分は今回噴気が停止していた領域